

2010年度第1回 煙制御設計小委員会 議事録 (案)

記録担当 中濱

- A. 日時 2010年4月22日(木) 17:00~19:15
- B. 場所 建築会館 3階役員室
- C. 出席者 森山主査, 山田幹事, 山田常圭, 仁井, 栗岡, 広田, 山名, 峯岸, 山口, 油野, 中濱
計11名(順序不同, 敬称略)

D. 配布資料

- ・No. 1-1: 委員会議事次第(森山)
- ・No. 1-2: 煙制御に関する言葉の定義(山名)

E. 審議事項

1. 防火本委員会(第3回)の報告

- ・今年度の大会において, 以下の協議会等が開催予定。
 - 防火部門研究協議会「建築防火設計は今何をを目指しているのか」: 2日目午後予定
 - 研究懇談会「現在の耐火設計に関わる諸課題そして展望」: 1日目午後予定
 - 建築法制部門研究協議会「建築ストック社会における建築法制度を考える
—防火避難規定を題材として」: 3日目午前予定
- ・旧38条問題検討WGが設置。今後事例調査を行い, 問題点を公表する予定。
BCSの代表として村岡氏と宮本氏が出席し, 協力体制が出来ている。
- ・火災原因調査高度支援専門員への参画要望書を検討。元々, 上杉先生と阿部先生が発端。
- ・防火委員会次期(2010/4~2012/3)委員長選挙を実施。田中先生に決定。

2. 煙本の読み合わせ

(1) スケジュール

事務局 森田氏とも話を行い, 以下のスケジュールを予定。山田幹事から田中先生へ報告。

- 6月上旬 最終原稿案とりまとめ, 近畿支部に送付, 近畿支部からの意見への対応。
- 7月 防火委員会に原稿提出, 査読委員(3~4名)選出, 査読依頼。
- 9月 査読終了, 原稿修正。
- 10月 脱稿, 事務局が印刷手続き。
- 12月? 講習会の広報。
- 2月 発行, 講習会開催。

(2) 共通フォーマット

- ・図表中に用いた文献は, 片括弧で番号を付け, 章の最後に文献名を記す。
- ・余白 上下30mm, 左右25mm, 43行40列, 文字10.5ポイントとする。
- ・節の表現は, 段階が下がる毎に下記の表記とする。
両括弧 (1) → 片括弧英語 a) → 片括弧ギリシャ数字 i)

(3) 煙制御に関する言葉の定義

- ・山名委員から, 煙制御に関する各種用語や, 「加圧排煙」, 「加圧防排煙」, 「加圧防煙」の定義について説明があった。
- ・加圧排煙: 機械給気により, 煙を押し出して排煙する方式(例: 押し出し排煙)。
- ・〃防排煙: 機械給気で防煙の機能が働き, かつ排気とセットで考える方式(例: 消防加圧)
- ・〃防煙: 加圧防排煙と異なり, 排気側は必ずしも排煙でなくてよい方式(例: EV加圧)

(4) 第1章 煙制御の目的と考え方

- ・表 1.1.1 傷者数のブランクの意味を、田中先生に聞く（山田幹事対応）。
- ・消防に関する記述（例えば 1.2.3 章等）は、山田常圭委員が作成された内容を盛り込んだ。
- ・「現状の消防排煙では、加圧防煙方式が主流になっている。」の記述は、見直す。
- ・1.3.4 章 空間特性に対応した煙制御計画 は、第4章と相反する内容がないか確認する。
- ・今回の打合せで、いくつか修正点は出たが、基本的に原案を最終原稿案とする。

(5) 第3章 煙制御の目的と考え方

- ・山名委員が作成された資料を参考に、煙本の目次は以下のように変更する必要がある。
 - ・3.6 章 加圧防煙設備 → 3.5.7 章加圧防煙設備 へ移動。
 - ・3.5 章 付室等の排煙 はタイトルを見直す。
- ・天井チャンバー方式は、機械排煙設備の章へ移動させる。
- ・天井チャンバー内のケーブルの耐熱化は、非常用照明等の防災関係電線に限られる。この点について他章で記述がある場合、留意する。
- ・加圧防煙設備の章に、階段加圧やシャフト加圧の記述がない。数行程度の内容を追記する。
- ・3.6.3 章 設計の注意点 ③火災室への給気の制限 の記述は、全ての給気量を火災室に入れる訳ではない点を、最後に簡単に明記する。

(6) 第4章 煙制御の目的と考え方

- ・図の一部を修正している段階である。
- ・図のタイトルにおける「煙制御対策例」は「煙制御方式例」に変更する。
- ・資料は白黒印刷とするため、区画ラインは太線とし、きちんと区画ラインを取る。

(7) 第6章 火災時の人間の挙動と避難計画に関する基礎知識

- ・避難開始のトリガーとして、「非常放送が明瞭にされた場合」の記述は削除する。
- ・消防隊員の行動は記述しなくてよいか。→ 記述しないこととする。
- ・「見通し距離」→「見越し距離」に修正する。

(8) その他の章

- ・第2章、第5章 執筆中。GW明けに一度、各章のリーダーが集まって打合せをする予定。

(9) 原稿締め切り

- ・最終原稿の締切日は、5月17日（月）朝9時とする。
- ・各章のリーダーは各担当者から原稿を集め、少なくとも章内の調整を行った原稿（WORD）を締切日までに、森山主査および山田幹事までメール等で送付する。

以上

次回の委員会は、以下の日時に調整中です。主な議題は、煙本の最終原稿チェックです。

- ・第一候補：5/27(木) 18時～20時
- ・第二候補：5/31(月) 同上
- ・第三候補：6/2(水) または3(木) 同上

煙本の最終原稿案は、各自印刷をお願いいたします。

(社)日本建築学会 〒108-8414 東京都港区芝 5-26-20 TEL03-3456-2051 FAX03-3456-2058